

「スマイル」 トライアル版 運用説明資料



# 初期処理手

#### PDAを使用の場合(HP iPAC 212)

- 1. パソコンにActiveSyncをインストールする。 出席端末とパソコンをUSBで繋ぎ、メーカーの説明書に従って、設定してください。
- 2. パソコンにVB6RUNTIMEをインストールする。 (CD-ROM)
- 3. Cドライブ直下に出席管理ホルダーを全てCOPYする。 (CD-ROM)
- 4. 出席管理ホルダーの中のmenu.exeのショートカットを作成して、ディスクトップに移す。
- 5. 端末プログラム・データを同期ホルダーにCOPY (CD-ROM 出席管理プログラム.exe・出席データ.txt)
- 6. 出席端末を同期とコンピュータを同期する。
- 7. 出席端末側の同期ホルダーのプログラムのショートカットを作成し、名前を任意に変更して、スタートプログラムに移動する。

#### CD-ROMを使用の場合

- 1. パソコンにVB6RUNTIMEをインストールする。 (CD-ROM)
- 2. Cドライブ直下に出席管理ホルダーを全てCOPYする。 (CD-ROM)
- 3. 出席管理ホルダーの中のmenu.exeのショートカットを作成して、ディスクトップに移す。

#### USBを使用の場合

セットアップ作業はありません。

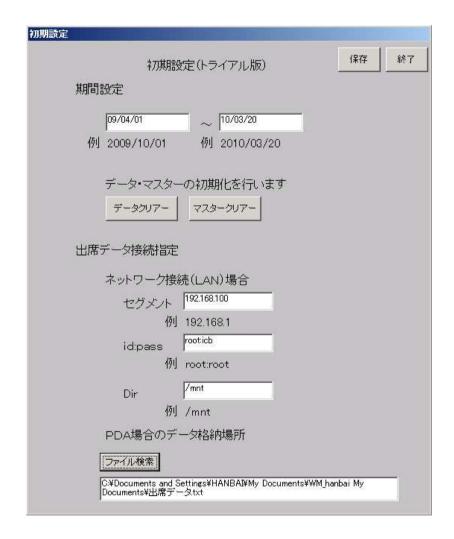
# 事前準備

menu.exeをクリックして、事前準備をします。

- 1. 初期処理-初期設定
- 2. 初期処理-時限マスター
- 3. 初期処理-科目マスター (PDAを仕様する場合は端末へ転送をしておいて〈ださい)
- 4. 初期処理-時間割登録
- 5. 随時処理-学生マスター取込
- 6. 随時処理-履修データ取込

# 初期設定

- 1. 期間設定
  - ・期間を入力する。
- データ・マスターの初期化
  データ・マスターをクリアーして最初から行う場合
- 3. 出席データ接続設定(ネットワークを利用の場合)
  - <del>・・ネットワーク接続の場合、例のように設定する。</del>
- 4. PDAの場合のデータ格納場所
- <del>にActiveSyncで設定したホルダーとデータ名を入れる</del>。
- 5. 設定保存
  - ·保存ボタンをクリックして設定を保存する。



# 時限マスター

- 1. 時限マスターは、判定の基礎となる時間テーブルです ・1時限目から授業開始時間と終了時間を入力して〈ださい。
- 2. 登録ボタンをクリックして、時限マスターを確定してください。



# 科目マスター作成

- CSVなど、外部ファイルから取り込みをする場合は左のメモ帳のような、 カンマ区切りのデータを準備し、
  - ・ファイル検索ボタンで上記ファイルの場所・名前を選択します。
  - ・選択されたファイルが画面の枠の中に表示されます。
  - ・取込ボタンをクリックしてください。データが取り込めます。





- 1. 科目マスター登録/追加
  - ・新規ボタンをクリックし、科目コード・科目名などを入力して登録ボタンを クリックしてください。
- 2. 科目マスター修正
  - ・修正画面の該当科目をクリックすると下の枠に該当科目が表示されます ので、修正後、登録ボタンをクリックして〈ださい。
  - ・削除の場合は、該当者選択後、削除ボタンをクリックしてください。
- -3. 出席端末に科目を転送(PDFを使用の場合)
  - <del>・端末に転送ボタンをクリックして〈ださい。次回の同期時に転送されます。</del>

# 時間割マスター



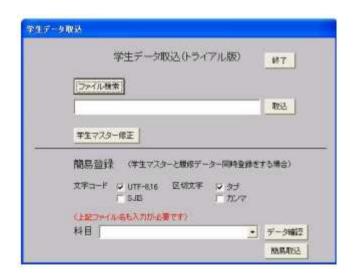
- 1. 当システムで管理する科目の時間割を入力して〈ださい。
- 2. 曜日ごとに登録ボタンをクリックして、時間割を確定してください。

# 学生マスター作成

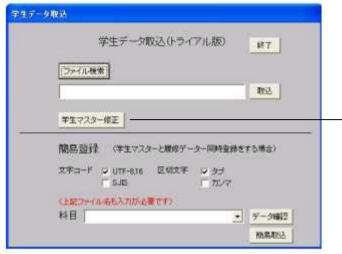
CSVなど、外部ファイルから取り込みをする場合は左のメモ帳のような、カンマ区切りのデータを準備し、

- ・ファイル検索ボタンで上記ファイルの場所・名前を選択します。
- ・選択されたファイルが画面の枠の中に表示されます。
- ・取込ボタンをクリックしてください。データが取り込めます。

(項目に関しては、2ページあとの、学生マスターレイアウトを参照)

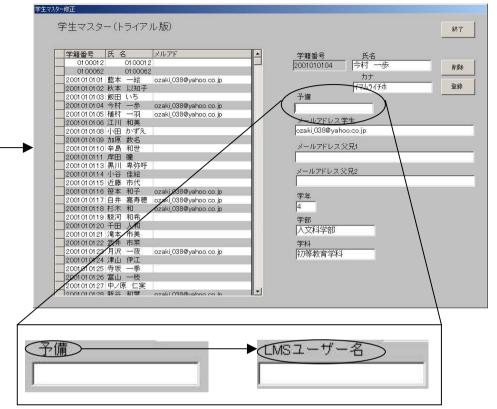


LMSなど外部よりマスターをとりこ時は、簡易取り込みが、可能です。 (学籍番号,氏名,LMSのレイアウトでCSVを作成してください。) このとき、科目を指定することにより、履修マスターも同時に登録します。



# 学生マスター修正

- ・学生マスター修正ボタンをクリックして、修正画面 を表示して〈ださい。
- ・修正画面の該当者をクリックすると右の枠に該当 者の情報が表示されますので、修正後、登録 ボタンをクリックしてください。
- ・削除の場合は、該当者選択後、削除ボタンを クリックしてください。
- ・予備の項目名は任意で変更可能です。 項目名をクリックし、新規項目名を入力して エンターキーを押してください。



先生の識別として、学生マスターの学生コードが99のとき、識別します。 出席データの認証画面で先生ならば、緑色で時間が表示されます。

先生のカードを出席ボードで読ませたとき、未履修となり赤色で時刻が表示されます。区別する為に、ここで、学年コードを変更してください。

# 履修データ作成

CSVなど、外部ファイルから取り込みをする場合は左のメモ帳のような、カンマ区切りのデータを準備し、

- ・ファイル検索ボタンで上記ファイルの場所・名前を選択します。
- ・選択されたファイルが画面の枠の中に表示されます。
- ・取込ボタンをクリックしてください。データが取り込めます。



- 1. 履修データ修正
  - ・履修データ修正ボタンをクリックして、修正してください。
- 2. 履修データ修正
  - ・科目を選択して、学生を表示します。
  - ・履修データ修正ボタンをクリックして、修正してください。
  - ・履修を取るには、該当者の履修欄をクリックしてください。
  - ・分析で得点を使用する場合は、得点を入力してください。





# データ取込時の各データのフォーマット

データ	項番	項目	値	形式	文字数	備考
科目マスター	1	科目マスター	必須	文字列	最大50文字	
	2	科目名		文字列	最大50文字	
履修マスター	1	学籍番号	必須	文字列	最大50文字	
	2	科目コード	必須	文字列	最大50文字	
	3	得点		整数	3桁	
学生マスター	1	学籍番号	必須	文字列	最大50文字	
	2	氏名		文字列	最大50文字	
	3	フリガナ		文字列	最大50文字	
	4	予備1		文字列	最大50文字	LMS
	5	メールアドレス1		文字列	最大50文字	
	6	メールアドレス1		文字列	最大50文字	
	7	メールアドレス1		文字列	最大50文字	
	8	学年	必須	整数	2桁	トライアル版は未入力可
		学部	必須	文字列	最大50文字	
	10	学科	必須	文字列	最大50文字	
学生マスター	1	学籍番号	必須	文字列	最大50文字	
(履修同時登録)	2	氏名	必須	文字列	最大50文字	
簡易登録用	3	LMS	必須	文字列	最大50文字	

# 出席データ受付



画面イメージ

#### 1. 科目選択

出席を行う科目を選択します。

- ・選択しなかった場合は、時間割マスターから自動的に入ります。
- ・ここで選択できない場合は、科目マスターで端末へ送信ボタンを クリックして同期処理を行って〈ださい。

#### 2. 開始ボタン

ICカードの読込を開始します。

- ・左のインジケーターが点滅します。
- ・リーダ部にカードを当て読み込ませてください。
- ・読むとブザーが鳴り、下の学籍番号読込データに表示されます。

### 3. 追加ボタン

手動で学籍番号を入力する場合、左の枠の中に 学籍番号を入力して、このボタンをクリックしてください。

・下の学籍番号読込データに表示されます。

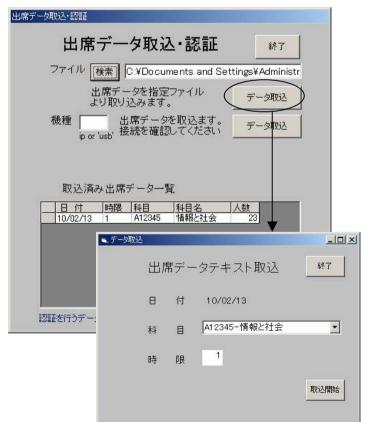
# 4. 終了ボタン

このプログラムを終了します。

# 出席データ取込・認証

PDA(出席端末)を利用の場合はPDAとパソコンを USBケーブルで接続してください。

- ・左の画面が表示され、出席データがパソコンに同期します。
- ·ここではケーブルをはずさないでください。
- ・機種にUSBと入力します・
- ・データ取り込をクリックしてください。



ファイルからデータを取り込む場合は、科目と時限を指定して取込開始ボタンをクリックしてください。



# ネットワークより取り込む場合

- ・LANで接続されている場合は、「Pアドレスの最後の番号を入力します。
- ・データ取り込をクリックしてください。

#### CSVなどで取り込む場合

- ・ファイル検索ボタンをクリックして、出席データを指定してください。
- ・データ取込ボタンをクリックしてください。
- ・取り込みの科目を指定してください。

上記処理を行うと一覧にデータが表示されます。 取込済み出席データ一覧より認証するデータを選択

- ・一覧の中から、今回データを選択してクリックします。
- ・認証画面が表示されますので、処理をしてください。

# 出席データ取込・認証 (認証)

#### 1. 出席データを認証します

- 表示された出席データが正しければ ここで認証ボタンをクリックして認証します。
- ・日付・時限・科目をチェックしデータを更新します。
- ・科目が入っていない時は、科目を入力してください。
- ・時限が入ってないときは、時限を入力してください。

#### 2. 出席データの変更

・明細をクリックして、学生の出席データを変更します。

#### 3. 出席データの削除

- ・明細をクリックして、学生の出席データを削除します。
- ・表示中の全データを削除する場合は、削除ボタンをク リックします。

#### 4. 出席データの追加

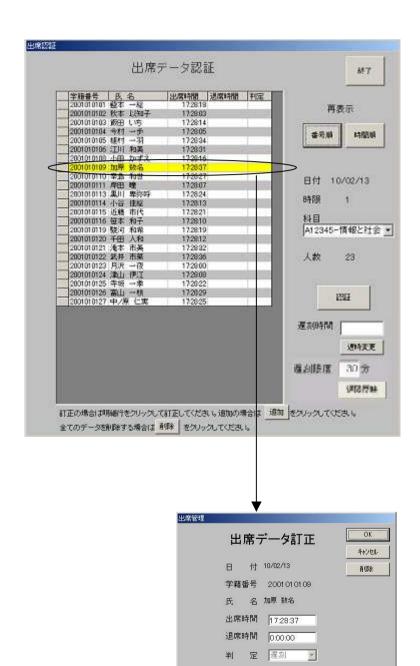
・追加ボタンをクリックして、学生の出席データを 追加します。

#### 5. 遅刻時間の変更

・遅刻時間に入力された時間以降が遅刻となります。 遅刻変更ボタンをクリックして判定を更新してください。

#### 6. 遅刻限度の適用

・遅刻限度に入力された経過分以降以降が遅刻となります。



# 出席データ手動入力

- 1. 出席データを手動入力します
  - ・科目・日付・時限を入力すると履修者を表示します。

#### 2. 判定を入れる

・明細行の判定をクリックすると、該当者に欠席が表示され、遅刻・早退・両方と表示が変わります。

#### 3. 写真で確認する

・明細行の氏名をクリックすると、該当者の写真 が表示されます。

# 4. 一時中止

・終了ボタンをクリックします。データは、再度プログラム を起動したときは、以前の状態に戻ります。

#### 5. 出席データ認証

・入力した出席データの認証をするには、 認証ボタンをクリックしてください。

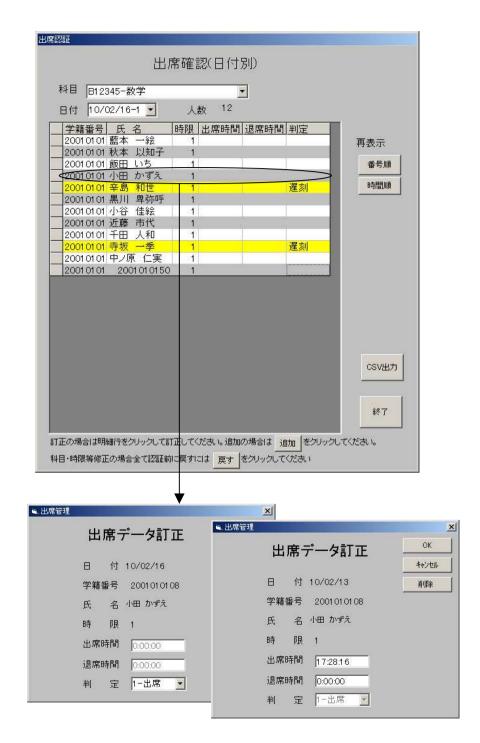
# 6. データクリアー

入力しているデータをクリアーするには、データクリアーボタンをクリックしてください。



# 出席確認(日付別:修正可)

- 1. 出席データを表示します
  - ・科目、日付を選択し出席データを表示します。
- 2. CSV出力
  - ・出席データを日付単位で外部ファイルに落とすには、 CSV出力ボタンをクリックしてください。
- 3. 過去の出席データを修正・削除
  - ・該当の明細行をクリックして修正してください。
  - ・端末等から取り込んだデータ(出席、退席時間が登録されている)は出席、退席時間のみ修正ができます。
  - ·手動入力したデータ(出席、退席時間が登録されていない)は、判定のみ修正ができます。
- 4. 過去の出席データを追加
  - ・追加ボタンをクリックして、データを追加してください。
- 5. 同一日の同一科目がある場合
  - ・日付の末尾に時限が表示されているので、該当する時限 を選択して〈ださい。
- 6. 科目、時限等を修正する
  - ・出席データを認証前の状態に戻すには、戻すボタンを クリックして〈ださい



# 出席確認(学生別)

- 1. 出席状況を表示します
  - ・学生別・日付別に1月間の出席状況を表示します。
  - 状況を色で表示します。

全て欠席は赤

その日の履修科目の内、一つでも欠席は黄 全て出席は

- 2. 学生の明細行をクリックすれば、科目別の出席状況が確認できます。
- 3. CSV出力
  - ・出席状況をファイルに落とすには、CSV出力 ボタンをクリックしてください。



# 出席確認(個人別)

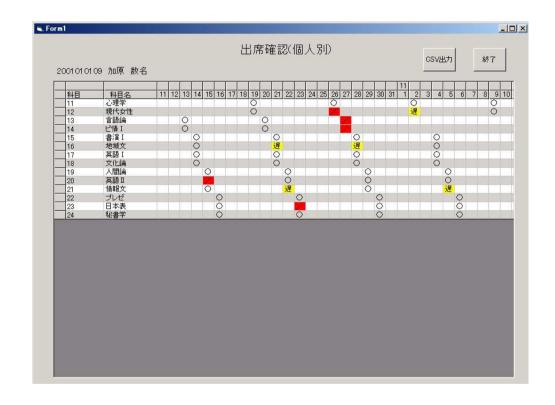
- 1. 出席状況を表示します
  - ·学生別·科目別·日付別に1月間の出席状況を表示します。
  - ・状況を色で表示します。

欠席は赤

遅刻・早退は黄

出席は

- 2. CSV出力
  - ・出席状況をファイルに落とすには、CSV出力 ボタンをクリックしてください。



# 出席確認(科目別)

- 1. 出席状況を表示します
  - ・科目別・学生別・日付別に出席状況を表示します
  - 状況を色で表示します。

欠席は赤

遅刻・早退は黄

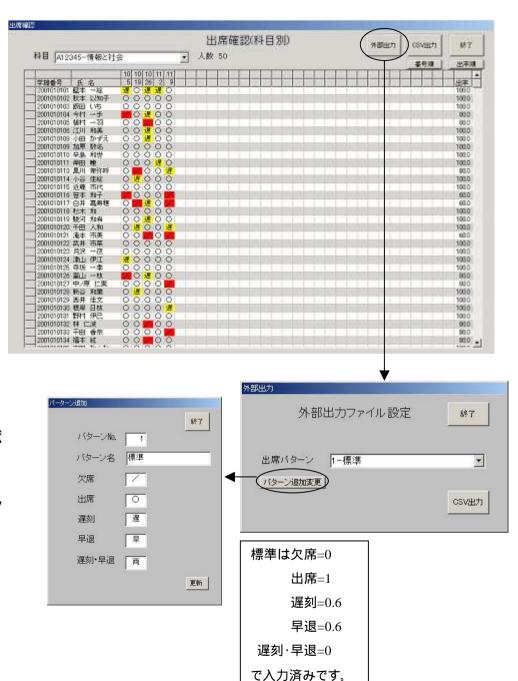
出席は

- 2. CSV出力
  - ・出席状況をファイルに落とすには、CSV出力ボタン をクリックして〈ださい。
- 3. 外部出力(カスタマイズ)
  - ・外部システムに出力する場合は、ここを選択します。 出力値の編集をする場合は、パターン追加変更ボ タンをクリックして〈ださい。

追加する場合は、新規パターンNo.を入力後に エンターキーを押し、内容を入力し、更新ボタン をクリックしてください。

変更する場合は、変更する出席パターンNo.を 入力後にエンターキーを押し、内容を変更して、 更新ボタンをクリックして〈ださい。

削除する場合は、削除する出席パターンNo.を 入力後にエンターキーを押し、削除ボタンをク リックしてください。(1-標準は削除不可)



# LMSに出席データをアップロード

出席確認(科目別)で外部システムに出力したファイルを成績センターにアップロードします。

1.「成績センタ」に入るり
 画面の左下の「コントロールパネル」の
 「成績センタ」の右側の「>>」をクリック。



2.オフライン作業より アップロードをクリック



3.ファイルを選択ボタンをクリックして 外部システムに出力したファイルを 選択する。

> ここに、ファイル 名が表示される

4.送信ボタンをクリックする

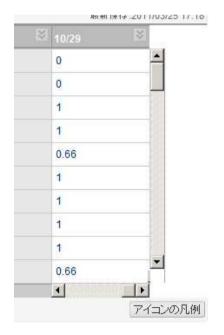


5.アップロードのチェック欄に今回追加したデータにチェックを入れて、送信ボタンをくりっくする



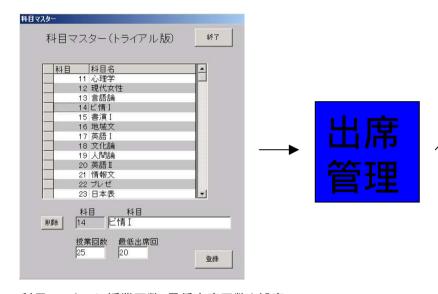
6.画面が「成績センタ全体」に戻り「新しい列が 追加されました」というメッセージが表示されたら OK。

図では「出席」が「1」、 欠席が「0」、 遅刻が「0.66」 と表示されている。



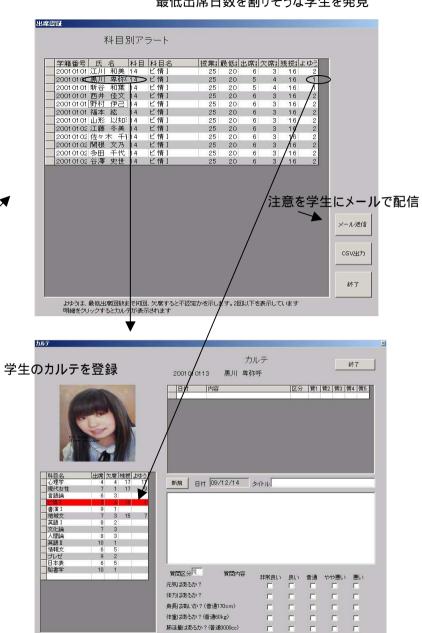
# 科目別アラート

# 必要出席日数の管理が可能です



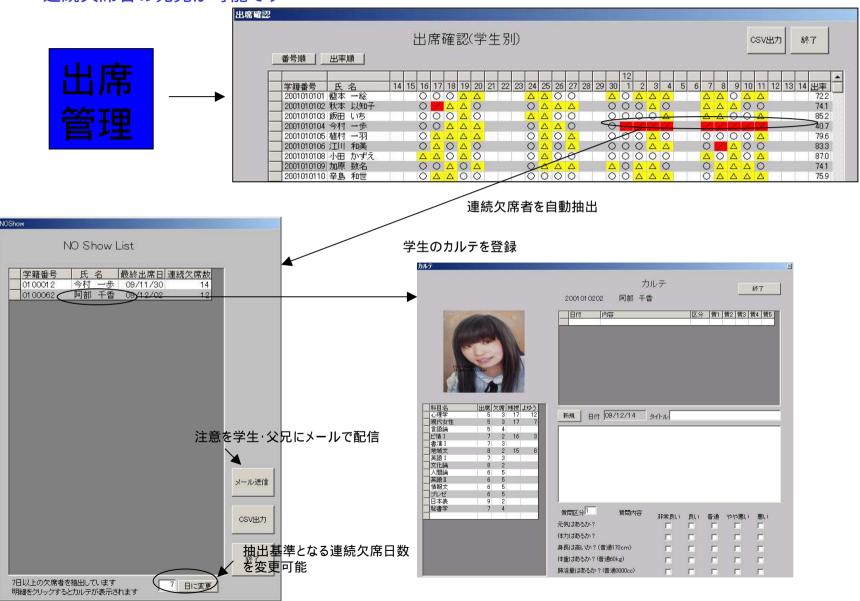
科目マスターに授業回数・最低出席回数を設定

#### 最低出席日数を割りそうな学生を発見



# NO Show List

# 連続欠席者の発見が可能です



# 期限切れの更新

#### 1. 期限切れ更新

期限切れ更新をすればセキュリティ・キーが、メールで 受信しますので、

更新ボタンをクリックし、メールのキーをコピーペーストしてください。

OKをクリックすると、期限延長いたします。

